

卒業年度	剣友会関係	剣道部の活動	剣友会の活動	歴代主将	大会戦跡	種目・成績	選手名	出来事(剣道)	全日本選手権優勝者	出来事(社会)		
S25 (1950)		<p>【関連記事1】</p> <p>全国組織結成の打ち合わせの場になったのが、日光東照宮である。東照宮は戦前から剣道に力を入れており、昭和四年の武徳殿竣工以来、毎年夏に奉納武道大会を開催してきた。占領期の中断を経て昭和二十六年八月から日光大会として復活させた。そして二十七年八月十八日に全国に呼び掛けて、剣道大会を開催することにしたが、この機会に集まった全国の剣道関係者による懇談会において、全国組織の結成の相談が行われ調整が図られた。</p> <p>こうしてすでにこの年五月に結成されていた東京剣道連盟と三月に発足した大阪剣道連盟が、京都府、兵庫県と提携して結成された、近畿剣道連盟の両者が打ち合わせの中心となって調整案を作成、全国の剣道に呼び掛けることになった。そして東京都剣道木村篤太郎会長と近畿剣道連盟大谷一雄会長代理の連名で、十月十三、四の両日、全国各連盟に全剣連結成のための会議の招集を行った。</p> <p>会議は東京原宿の東鉄職員会館で開かれ、昭和二十七年十月十四日全日本剣道連盟の結成が決議され、こうして戦後の新たな剣道の全国組織が誕生した。初代会長には木村篤太郎氏が就任、副会長は大空雄氏ほか三名、理事長新田宗雄氏、専務理事に庄子宗光氏、理事二名、事務局局長渡辺雄氏などが選任された上、(全剣連50年史より抜粋)</p>	<p>【関連記事2】</p> <p>戦争中軍国主義の強化に利用されたという、剣道の罪状を一応認め、しかも戦前の関係者の悪かった点に反省の意を表明し、「剣道は心を入れ替えて、新しい行き方をします」ということを明言しなければならなかった。それが剣道は体育スポーツとして出直すということであった。衝に当たって、折衝された方の苦心が偲ばれる。」(全剣連50年史より抜粋)</p>									
S26 (1951)												
S27 (1952)										全日本剣道連盟発足	・日華平和条約調印 ・日印平和条約調印 ・アインシュタイン死亡	
S28 (1953)										社会体育としての剣道に対する制限が解除され、高校以上の学校で剣道を体育として実施できるようと通達される。同時に全日本学生剣道連盟が結成される。	第1回 柳原 正	・イギリス エベレスト初登頂
S29 (1954)										第十回国民体育大会で剣道が正式種目となる 第一回全日本東西対抗剣道大会が開催される	第2回 小西 雄一郎	・ビキニ水爆被害事件(第6福竜丸)
S30 (1955)										全剣連は昭和四十二年十月四日に、日本武道館において、各国を招いて国際親善剣道大会を開催した。ここに集まった十ヶ国、二団体の代表による協議の結果、国際剣道連盟の結成の方向が決まり、四十五年(一九七〇)日本で第一回世界剣道選手権大会を開催することになった。この機会に国際剣道連盟が結成され初代会長に全剣連木村会長が選出された。	第3回 中村 太郎	・国連加盟
S31 (1956)										大会には十七団体が参加、東京、大阪で選手権大会を開催、国際普及の良き口火をきった。以後世界大会は三年ごとに、各大陸持ち回りで開催、海外諸国の剣道の普及と技術向上に大きな効果をあげている。	第4回 浅川 香男	・ソソ共同宣言調印(ソ連国交回復)
S32 (1957)										学校剣道として中学校高校で正科種目として認められる	第5回 森田 信尊	・皇太子ご成婚
S33 (1958)										全日本剣道選手権大会の優勝者に天皇杯が下賜される	第6回 鈴木 守治	・原子力潜水艦ノース号北極潜水横断に成功
S34 (1959)											第7回 中村 太郎	・ソ連 月の裏側撮影に成功
S35 (1960)									第8回 桑原 哲明	・総理大臣:池田勇人		
S36 (1961)		戦後 剣道部を創設 川原運動場で30名で始動 弘明寺の小学校へ防具を受け取りに行く。 選3回の練習 関東甲信越大学体育大会参加、鳳鳴学長決戦で防具4個を贈入していたが、 神奈川県立五大学剣道部加盟 立大学との対抗戦を開催そして勝利	3/10剣友の集い 1回生~18回生まで31名出席	美馬宗三	関東甲信越大学体育大会	全敗		5月 全日本学校剣道連盟結成	第9回 伊保 清次	・ソ連 有人宇宙飛行に成功		
S37 (1962)								剣道が中学校で正科選択必修として実施される	第10回 戸田 忠男	・三河島駅二重衝突事故		
S38 (1963)								剣道が高校で正科選択必修として実施される	第11回 矢野 太郎	・ケネディ一語致 ・新十日礼発行 ・東海道新幹線開通 ・東京オリンピック ・日韓国交回復		
S39 (1964)								第十八回オリンピック東京大会において、新設の日本武道館にて剣道、弓道、相撲がデモンストラーションとして行われた	第12回 戸田 忠男			
S40 (1965)								第一回全日本居合道大会が開催される	第13回 西山 泰弘	・シンザン5冠馬		
S41 (1966)									第14回 千葉 仁	・ザ・ビートルズ来日		
S42 (1967)	1周年	年間5回の大会に参加 (対市大定期戦・春神奈川六大学新人戦・関東甲信越大会・対市大定期戦(秋・春神奈川六大学対抗戦) また、年4回の合宿(5月 横浜市内の道場・夏・長野方面での合宿、秋・前期試験後の合宿・春 鎌倉霊雲寮) 早稲の寒稽古も実施(富士会報昭和42年より)	富士会報に卒業した剣友からの連絡を求める投稿記事(天野光重記)	秋田純正	春神奈川六大学新人戦(東海大・神奈川大・防大・関東学院大・横浜市大・横浜国立大) 二勝三敗四位 対市大定期戦(横浜市大体育館) 四六-7帯大	二勝の部優勝 戸田知 三勝以上の部 三位 緒方正之助		10月4日 国際親善剣道大会開催(日本武道館、【関連記事6】参照) 11月 全日本女子学生剣道選手権大会開催	第15回 堀田 国弘	・小笠原諸島遠征 ・GNP世界二位 ・ミニスカート流行		
S43 (1968)	2周年								第16回 山崎 正平	・原子力潜水艦エンタープライズ入港		
S44 (1969)	3周年								第17回 千葉 仁	・人類初の月面着陸		

卒業年度	剣友会年	剣道部の活動	剣友会の活動	歴代主将	大会戦跡	種目・成績	選手名	出来事(剣道)	全日本選手権優勝者	出来事(社会)
S45 (1970)	4周年				神奈川県七大学戦	団体戦第五位		国際剣道連盟設立、第一回世界剣道選手権大会東京大会(団体)大阪大会(個人)が開催される。	第18回 中村 毅	-万博
S46 (1971)	5周年	四年生が夏休みまで現役を継続 剣道部の部長増加 女子部員11名に	5/22 弘明寺体育館 剣道部O-B会(毎年5月の土曜日に定着。)O-B対戦後の試合を実施。 剣友会名簿完成	藤原成英	神奈川県七大学戦 第22回関東甲信越大学体育大会 第2回関東甲信越大学体育大会	団体戦第四位 男子団体準優勝 女子団体優勝			第19回 川添 哲夫	-沖繩返還協定調印
S47 (1972)	6周年		6/10 OB会(弘明寺体育館)	佐伯 博	春季神奈川県七大学戦	男子団体第六位		2月15日 『全剣道広報』創刊	第20回 千葉 仁	-総理大臣:田中角栄 -沖繩返還 -日中国交回復 -冬季オリンピック札幌大会
S48 (1973)	7周年	コーチとして片山5段、その後村山7段を迎える。	6/23 OB会(弘明寺体育館)	渋谷英樹	春季神奈川県七大学戦	男子団体第三位		第二回世界剣道選手権大会がアメリカ・ロスアンゼルスで開催される	第21回 山田 博徳	-運動相増利導入 -第一次オイルショック
S49 (1974)	8周年	神奈川県学生剣道大会が八大学となり二部制となる。入れ替え戦で神奈川県大学と対戦も、敗れBリーグ止まり。		橋本昌己				3月2日 初代会長木村篤太郎辞任。前最高裁判所長官石田和外退任 10月28日 財団法人全日本剣道連盟設置	第22回 横尾 英治	-エネルギー危機、TV放送短縮 -ボトナム戦争終結
S50 (1975)	9周年	神奈川県学生剣道大会 防衛大学との入れ替え戦に勝利し、一部リーグ昇格		田島佳夫	神奈川県四者対抗	優秀選手	鹿間博彦	『剣道の理念』剣道修練の心構えが制定される	第23回 川添 哲夫	-総理大臣:三木 -沖縄海軍港
S51 (1976)	10周年		6/8 OB会 神奈川県大会の審判(天野先童・緒方先章2名)OBから審判を寄贈する	南 圭一	神奈川県学生剣道大会	Bリーグ優勝		4月17・18日 第3回世界選手権大会(英国) 7月6日 財団法人全日本学校剣道連盟設立 12月6日 『青少年剣道指導要領』承認	第24回 石田幸次郎	-モントリオールオリンピック -ロッキード事件発生
S52 (1977)	11周年	常盤台に経済・経営・教育学部が移転。工学部が弘明寺のため土曜日のみの合同稽古。部員42名。大学剣道選手権大会で神奈川県大学で唯一 全日本学生への出場権を獲得。	6/4 常盤台キャンパスに道場が新設 初めて OB会を開催 剣友会から太鼓が寄贈される	横野 宏	第25回全日本学生剣道選手権大会出場	男子団体	浅原・森田・海池・横野・広葉・松崎・田中・本名順・横口	4月22日 武連協議会発会式 9月11日 第1回全日本少年武道(剣道)錬成大会開催	第25回 小川 功	-総理大臣:福田 -200海里法施行
S53 (1978)	12周年	関東甲信越大学体育大会を横浜で開催(剣道は市大主催)	6/24 OB会	横野幸一	第27回関東甲信越大学体育大会 神奈川県学生剣道大会	女子団体優勝 二部優勝		2月9日 国会議員による武道議員連盟結成	第26回 石橋 正久	-五ホムラン世界記録 -成田空港開港
S54 (1979)	13周年	部員59名(女子17名)	旧高専剣道大会 日本館業体育館 天野先童出場 6/23 OB会	田中不二夫	第28回関東甲信越大学体育大会	女子個人準優勝	山下由紀恵	11月5〜7日 第1回スポーツ少年剣道交流大会 5月9日 石田和外会長急逝 6月19日	第27回 末野 栄二	-総理大臣:大平 -東京サミット
S55 (1980)	14周年	神奈川県学生剣道大会 幹事校として開催 神奈川県 長洲知事から祝電が届く  全日本学生剣道選手権大会出場権獲得 (1回戦宇都宮2-3国大 二回戦 防衛大学3-3(本数勝ち) 三回戦 東京経済大学1-6国大)		横口芳隆	第25回春季神奈川県学生剣道大会 第28回全日本学生剣道選手権大会出場	個人優勝 個人準優勝 男子団体第二位	藤 信人 山本悦	12月8日 科学委員会設置決定	第28回 戸山 光利	-総理大臣:鈴木 -日中平和友好条約調印
S56 (1981)	15周年	公式戦には学生服着用	6/25 OB会 横山会一前道部長 天野先童への感謝状贈呈。新組織体制へ 山口幹事長 天野幹事長 石野・宮部総務 渋谷・広葉会計 藤原・種子島・南学生班 田島審判幹事 横口剣友会幹事	田中和美	第30回関東甲信越大学体育大会	個人優勝	枝迫大成		第29回 中田 瑠士	-国家公務員の週休2日制導入
S57 (1982)	16周年	第27回秋季神奈川県学生剣道大会で全敗 2部リーグ落ち		福島主輔	第16回全日本女子学生剣道優勝大会出場 第27回春季神奈川県学生剣道大会 第30回全日本学生剣道選手権大会出場	女子個人 男子団体第二位	出沢尚子	6月20日 創立30周年「三十年史」出版 7月31日 第6回世界剣道選手権大会(ブラジル) 8月8日	第30回 石田 健一	-東北・上越新幹線開通
S58 (1983)	17周年			枝迫大成				6月23日 庄子宗光会長に就任、河合義晴名誉会長へ。 11月4日 次年度から剣道六段の地方審査会を増加することを決定	第31回 東 一良	-総理大臣:中曾根 -東京ディズニーランド開園 -金融機関第2土曜日休日
S59 (1984)	18周年			小沢勝也				全日本剣道選手権大会の出場資格を六段以上に制限、勝負に判定を取り入れる	第32回 原田 哲夫	-グリコ・森永事件発生 -ロスアンゼルスオリンピック
S60 (1985)	19周年		6/29 OB会 OB会から防具置き場の贈り寄贈	竹田泰郎	第30回秋季神奈川県学生剣道選手権大会	個人優勝	小日山 明	日本剣道形審査上の着眼点等を決定 4月13・14日 第6回世界剣道選手権大会(パリ) 6月26日 全剣連会長に大島功就任 『日本剣道形審査上の着眼点等を決定	第33回 石塚 美文	-つくば科学万博開催 -日航機御巣鷹山墜落
S61 (1986)	20周年		6/8 OB会 剣友会創設二十周年 菅委員長の20年の功績に感謝状を贈呈。学生へビデオ式(大学卒70万・高専・高工卒30万円寄付) 神奈川県大学剣道連盟 三十周年にあたり大会に際して横山会一前道部長 天野八郎先童に感謝状と記念品が贈られた。 石川監督就任	藤田良樹	第31回秋季神奈川県学生剣道選手権大会	個人三位	今井浩	試合規則一部改定	第34回 岩堀 透	-チェルノブイリ原発事故
S62 (1987)	20周年	関東甲信越大学体育大会を横浜で開催(剣道は国大主催)、横山直也先生兼任		小日山 明				改訂『剣道試合・審判規則』を制定、全剣道広報の月刊化(後の『剣窓』)	第35回 西川 清紀	国鉄民営化
S63 (1988)	21周年		12/9 0時31分 菅委員会長 永根	川村良児	第22回全日本女子学生剣道選手権大会出場 第33回秋季神奈川県学生剣道選手権大会	女子個人 女子個人優勝	森崎仁美 森崎仁美	5月7日 六段審査より受付・審査を年齢別に2部に分けて行うシステムを採用。 5月28-29日 第7回世界剣道選手権大会(韓国)	第36回 林 朗	-総理大臣:竹下 -ソウルオリンピック
H元 (1989)	22周年		6/17 OB会 大学会館での学生との交流会	大山武郎	第37回全日本学生剣道選手権大会出場	男子個人	山口敬介	『称号審査規定・段位審査規定』改訂、昇段のための修業期間が延長(2段へは1年に戻す)、七段審査の時間が1分から1分半に延長、全日本選手権出場枠を64名に増やす	第37回 西川 清紀	-昭和天皇崩御、平成に改元(1月7日) -消費税導入(3%) -総理大臣:宇野 -総理大臣:高橋 -中国天安門事件

卒業年度	剣友会周年	剣道部の活動	剣友会の活動	歴代主幹	大会戦歴	種目・成績	選手名	出来事(剣道)	全日本選手権優勝者	出来事(社会)
H2 (1990)	23周年		6/16 OB会 横山金一前部長へ記念品として手刺刺青古着と特を贈呈。	山口敬介	第38回全日本学生剣道優勝大会出場 第24回全日本女子学生剣道選手権大会出場	男子団体 女子個人	山口・木村・石野・松瀬・坂本・有竹・青木・藤木・横尾 伊藤純子	6月19日 全日本剣道選手権大会の出場資格を五段以上に緩和 6月29-30日 第9回世界剣道選手権大会(カナダ)	第38回 宮崎 正裕	・ベルリンの壁崩壊、東西ドイツ統一
H3 (1991)	24周年	関東学生剣道連盟の選抜選手として有竹主幹が海外遠征メンバーとなる	6/15 OB会	有竹 剛	第39回全日本学生剣道選手権大会出場	男子個人	高橋健太郎	『段位審査規定』改訂(八段の2次審査員14名、75歳以下の撤廃、形審査実施)、神奈川県代表宮崎正裕選手が全日本剣道選手権大会で大会史上初の2連覇達成	第39回 宮崎 正裕	・雲山菅野岳噴火 ・清津戦争勃発 ・ソ連崩壊
H4 (1992)	25周年	公式行事にはブレーザー着用	6/20 OB会 山口健太郎会長 石野幹事長が退任 後任として天野八郎会長 秋田幹事長が就任	藤本賢二				5月3日 第四十回京都大会を改め、第八十八回全日本剣道演武大会とした 5月17日 六段審査会名古屋で開催 12月23日 『全剣連四十年史』(剣道界と全剣連のあゆみ—この10年)を出版	第40回 石田 利也	・総理大臣:宮沢 ・バルセロナオリンピック ・新幹線のみぞ、山形新幹線開通
H5 (1993)	26周年		6/19 OB会	横尾健之				6月7日 大島功全剣連会長逝去 6月22日 荒山二郎剣連会長に就任 11月1日 七段以上の高段者名簿初めて発行 11月3日 第41回全日本選手権大会、決勝は宮崎(神奈川)兄弟対決	第41回 宮崎 正裕	・総理大臣:細川 ・リーグ開幕 ・皇太子ご成婚
H6 (1994)	27周年	関東学生剣道連盟の選抜選手として高橋主幹が海外遠征メンバーとなる		高橋健太郎	第39回秋季神奈川県学生剣道選手権大会 第40回関東甲信越大学体育大会 第40回秋季神奈川県学生剣道選手権大会 第43回全日本学生剣道優勝大会出場	団体優勝 団体優勝 個人優勝 女子団体優勝	高橋・秋山・山田・田村・谷田・井上・大田・豊田・加藤 高橋・秋山・山田・高砂・井上・菊池・大田・豊田・加藤 高橋健太郎 横山・道藤・青藤・寛川・香澤	剣道社会体育指導員認定制度が文部省に認可される 4月9-10日 第9回世界選手権大会(パリ) 11月20日 八段審査東京でも実施	第42回 西川 清紀	・総理大臣:羽田 ・総理大臣:村山 ・アジア発の女性宇宙飛行士誕生
H7 (1995)	28周年	剣道部創設以来の全日本学生2回戦進出 関東学生剣道連盟の選抜選手として井上副主幹が海外遠征メンバーとなる	有竹監督就任 6/3 OB会 31名の卒業生が稽古に参加	高砂 大	第40回秋季神奈川県学生剣道優勝大会 第43回全日本学生剣道優勝大会出場	準優勝 男子団体	菊池一紀 高砂・井上・菊池・大田・秋野・川崎・高橋山・安部	剣道八段資格の年齢制限の48歳以上を46歳以上に改訂、全日本女子剣道選手権大会の出場資格を18歳以上(年度内年齢)、全日本剣道選手権大会の出場資格を20歳以上とし段位制限を撤廃	第43回 石田 利也	・阪神淡路大震災 ・地下鉄サリン事件
H8 (1996)	29周年	神奈川県学生剣道連盟幹事校	6/22 OB会 29名の卒業生が稽古に参加	大田 剛				全日本剣道選手権大会を天皇皇后両陛下でご観戦、優勝者(宮崎正裕)に天皇杯が授けられる(4度目の優勝)	第44回 宮崎 正裕	・総理大臣:橋本龍太郎 ・アトランタオリンピック ・露露エイズ訴訟
H9 (1997)	30周年	E-MAILでの日程連絡をはじめ 関東学生剣道連盟の選抜選手として榊山副主幹が海外遠征メンバーとなる	宮本海先輩がNHKドキュメント日本一ニオ砂の挑戦に出演!! 6/28 OB会 34名の卒業生が稽古に参加	角 憲太郎	第42回春季神奈川県学生剣道選手権大会 第42回秋季神奈川県学生剣道選手権大会	個人準優勝 個人三位	角 憲太郎 榊山貴史	第十回世界剣道選手権大会が京都で開催される、第三十六回全日本女子剣道選手権大会の優勝者(大塚真由美)に初の皇后杯が授けられた 8月27-30日 第10回世界選手権大会(京都)	第45回 宮崎 文裕	・消費税5% ・香港中国へ変換
H10 (1998)	31周年	関東学生剣道連盟の選抜選手として安部主幹が海外遠征メンバーとなる	6/27 OB会 剣友会創設三十周年 厚積公園県立武道館で稽古会を開催 総勢54名・海外遠征の安部主幹に稽古費・特を贈呈。 宮本先輩・山口先輩に感謝状を贈呈 特別剣友貴志川口ベルト先輩が帰国されるにあたりOB会から稽古着・学生から特を贈呈。	安部博文	第43回秋季神奈川県学生剣道選手権大会	個人優勝	安部博文	11月2日 ・全剣連ホームページ発足 ・『竹刀及び剣道具規格』成案を得る	第46回 宮崎 正裕	・総理大臣:小淵恵彦 ・長野冬季オリンピック ・山一證券破綻
H11 (1999)	32周年	関東甲信越国立大学剣道大会幹事校	木村監督就任 宮本海先輩統士号受称 6/26 OB会	喜納祐介				剣道称号・段位制改定、剣道称号・段位審査規則および細則・実施要領決定(形審査不合格者の再審査制)、国士館大学にて剣道部員の傷害致死事件発生、剣道部解散	第47回 宮崎 正裕	・金融再編進行
H12 (2000)	33周年	剣道部ホームページ立ち上げ 剣道場修繕	6/24 OB会 OB会から川津主幹に特を贈呈	川津大輔	第48回全日本学生剣道選手権大会出場 第45回秋季神奈川県学生剣道選手権大会	男子個人 個人三位	川津大輔 中原貴之		第48回 栄花 直輝	・総理大臣:森 ・シドニーオリンピック ・有珠山噴火
H13 (2001)	34周年	春季合宿開始	6/23 OB会	大塚 孝	第46回春季神奈川県学生剣道選手権大会	女子団体三位	織田・日向・外島	全日本剣道演武大会の出場資格を6段以上称号受有者とする、七段審査会名古屋で実施	第49回 佐佐 英範	・総理大臣:小泉純一郎 ・米国同時多発テロ
H14 (2002)	35周年		6/8 OB会 三十五周年を記念して弘明寺の横浜国立大学付属中学校体育館で開催	佐藤亨定				規則改定で八段一次の審査員を6名とし4名の同意で合格、六七段形審査を別立ての三審査員で実施	第50回 安藤 戒牛	・アフガン戦争 ・サッカーワールドカップ日韓共同開催
H15 (2003)	36周年	神奈川県学生剣道連盟幹事校	6/28 OB会 36周年記念事業として36年記念誌を編集スタート。 奥島会長 藤立副会長が就任 秋田幹事長が退任され、成原幹事長が就任	中原貴之				四段～七段、錬士、教士の審査員を6名とし4名の同意で合格とし、剣道称号・段位審査規則改定、『日本剣道形解説書』完成、解散の統一実施	第51回 近本 巧	・イラク戦争勃発 ・SARS流行
H16 (2004)	37周年		6/26 OB会 約1年越しの編集作業を終え無事に記念誌が発刊された。年余費を頂いての先東方全体に配布を実施。関係各所にも寄贈書として贈呈。	濱砂宏紀				・初段取得者数が、2年前に年間5万人台を回復。 ・207団体に少年剣道教育奨励賞を贈呈 ・全日本剣道演武大会が明治28年以来第100回を迎える ・全剣連ホームページのリニューアル成る	第52回 鈴木 剛	・新潟中越地震 ・スマトラ沖大地震・大津波 ・アテネオリンピック
H17 (2005)	38周年	香港国際招待試合にて剣友会チームが3位入賞(榊山(H10) 中川(H11) 山田(H11) 大塚(H13)) 6/25 OB会 40周年の記念総会に向けた準備をスタート		藤山和夫	第50回秋季神奈川県学生剣道選手権大会	個人優勝	米倉 文登	・剣道八段審査に過去最多の1300人を越す。合格者12名。7段審査は2581名と前年度越す。 ・5月団体で岡山県四目完全優勝。 ・8月31日愛知万博で剣道フェスティバルを開催。 ・東西対抗剣道大会を三十八年ぶりに鹿児島で開催。心技とも充実した試合に終結した。	第53回 原田 悟	・鳥インフルエンザ発生による鳥多量処分 ・建築耐震強度偽装事件発覚 ・クレジットカード偽造事件 ・ネット詐欺巧妙化
H18 (2006)	39周年		6/24 OB会 大塚監督就任 秋田副会長が就任 40周年記念総会開催を開始し、100人以上の規模で総会を開催するべく準備を進めスタート。大学関係者への招待をはじめ稽古会での剣道形演武を企画。	藤原 慶一				・平成18年3月31日時点での剣道有段者登録数は、1,429,718人(内、女子は401,121人) ・12月に第13回世界剣道選手権大会を台湾で開催。44カ国参加。女子個人、男子個人は、日本が連続優勝。男子団体戦、日本は、準決勝で米国に敗れ3位、韓国初優勝。	第54回 内村 良一	・小泉から安倍首相へ、道反議員履任 ・イナバウアー-荒川幹事ト/五輪で金 ・WBC王ジャックが世界の頂点に ・姉齒 耐震強度偽装事件

